

第6回里山シンポジウム 里山活動の拡大と継続

代表 金親博榮 2009.05.17

1 里山シンポジウムのスタート

第54回全国植樹祭 20030518(里山の日)、千葉県里山条例、
里山フェスティバルの一環 (シンポジウムと里山体験の両輪)

(里山シンポジウムの経過)

第1回 2004年	木更津市・上総アカデミアパーク	「里山に託す私たちの未来」	11分科会
第2回 2005年	我孫子市・中央学院大学	「里山と子ども」	14分科会
第3回 2006年	八千代市・市民会館	「里山とゴミ」	18分科会
第4回 2007年	東金市・城西国際大学	「里山となりわい」	13分科会
第5回 2008年	千葉市・東京情報大学	「里山と生命のにぎわい」	22分科会
第6回 2009年	佐倉市・志津コミュニティーセンター	「里山と食料・水・木材」	24分科会

2 発足時の里山を取り巻く情勢

千葉県の1/3は森林、農業の位置全国首位級、農林業離れから農地離れへ、

3 林業の低迷、農業・漁業の危機

1960年代の材価 2次、3次産業の拡大、貿易の自由化とボーダーレス経済

4 市民参加の里山づくり

林業家だけでは担いきれない里山管理 里山活動協定 102件 (150ha、0.1%)
企業による森づくり (県有林等) 20法人 (23箇所、50ha)

5 ちば里山センター

里山活動団体の拡大と連携、市民と地主の橋渡し、これを支える情報センター機能

6 森林セラピー研究会

科学的なアプローチと、医療資源としての里山の認知・活用

7 印旛沼わいわい会議(市民) 印旛沼流域水循環健全化会議(専門家)の下部組織

沼は流域の縮図 水利用(農業, 工業, 飲料水) 里沼・里川・里海

8 生物多様性ちば県民会議

県民の声の反映とタウンミーティング、生物多様性千葉県戦略策定への寄与と実行

9 千葉の里山・森づくりプロジェクト

環境立県と里山への企業力の導入、里山づくりの基盤は地域づくり、公有地の利用

10 これまでの活動の軸となるもの・共通項

自らの意思によるボランティア、緩やかな連携、国民的な理解の拡大の基盤づくり

11 暮らしぶり、人の生き方

ライフスタイルの見直し、農のある生活、生業なりわいの復活、生活基盤の再検討

12 地球環境、気候変動・温暖化と森林・生物多様性

CO₂の吸収源としての山林の役割 間伐を如何に進めるか

13 市民・行政・企業・専門家の連携と自律

環境税、環境直接支払い、消費者の農業へのかかわり・市民農園、CSR

14 多様な分野の市民活動との連携

食料、教育、医療、福祉、子育て、ゴミ、残土産廃、産業、エネルギー、種子、
外来種、渡り鳥、芸術、文化、伝承技術、GIS、竹、水循環、観光 . . .

15 関係した事例 各団体での活動に加え、協力による成果

多古町・桜宮自然公園のごみ焼却場建設、松戸市・関さんの森での道路迂回、
木更津市・真里谷の農地造成中止、佐倉市畔田谷津環境保全整備事業 ほか

16 当面の課題・目指すもの

G8からCOP10への取組み globalとlocalの両輪

目標を持つ事の意義、継続へのエネルギー 人事、組織の刷新

個別の市民活動・団体での問題点

17 里山保全と林業振興の具体策

① 県民の負担 汗と金の裏づけを確実なものに

- ・ 広範な人々からの小額負担 里山環境税などの導入

② 里山保全

- ・ 地主と市民（ボランティア）をつなぐ仕組みづくりの充実
- ・ 地に足のついたボランティア人材育成（お客様ではない活動）
- ・ 里山景観への関心を高め、保全のための具体的な方策を考える気運を盛り上げる
- ・ 都市の緑の継承のための相続税の問題など、法改正の提案
- ・ 都市部の農地の活用と都市計画税のあり方などの論議

③ 林業振興

- ・ 間伐材の活用について

自治体のグリーン購入に組み込み、積極的な活用をはかる

具体的な数値目標を持つ

- ・ 森林所有者・組合について

情報公開に努め（市民にとってはどんな人が何をしているのかあまり見えない）

市民との交流を図る。

18 住みよい千葉県 住んでみたい私の町・私の村 訪ねてみたい景観

- ・ できる時に 出来るだけの事を 出来る人が 手を携えて進めよう

ちばの里山・市民活動